

第7回中海会議【概要】

H28.8.8 米子コンベンションセンター（米子市）

議事1（要綱改正（案）について）（説明者：鳥取県元気づくり総本部長）

■鳥取県知事

組織改正に伴うものなので、御承認いただきたい。それでは異議がないものと認める。

議事2（部会・ワーキングからの報告事項）

（1）中海湖岸堤等整備に係る調整会議（説明者：国土交通省出雲河川事務所）

【意見等】

■鳥取県県土整備部長

- ・大橋川の拡幅の条件について、今後の短期整備箇所の一層の整備促進、並びに短中期・中期整備箇所の整備においても、これまでと同様、しっかりとした時系列により整備される前提であることを確認させていただきたい。
- ・湖岸堤の整備については、関係者が多いため、情報共有、連携をしっかりとさせていただき、円滑な事業進捗をお願いしたい。
- ・境水道における護岸整備について、市の内水対策が明らかになった時点で調整を図り、必要な堤防整備を図ることとされている。境港市の内水対策の整備が進んでおり、今後、境水道の整備について、県、市との調整をお願いしたい。

■島根県土木部次長

- ・湖岸堤の整備にあわせ、島根県、松江市、安来市が内水排除について連携して取り組んでいる。
- ・島根県としては、安来市の吉田川と木戸川の堤防かさ上げと逆流防止ゲートの設置を行っており、吉田川については平成25年度に完成、木戸川についても、今年の6月に完成した。また、松江市、安来市においても河川や排水路の整備、そして逆流防止施設の整備を行っている。
- ・島根県としては、大橋川の治水事業が松江市民の安全安心のための最重要施策と位置づけており、大橋川改修推進のためにも中海の護岸堤整備及び内水対策のより一層の推進が不可欠と考えている。

■松江市長

- ・短中期、中期の整備箇所について、引き続き事業の推進をお願いしたい。
- ・樋門の操作はかなり技術等が必要だと思うので、研修等をお願いしたい。またポンプ車の派遣についてもお願いしたい。
- ・宍道湖の湖岸堤も、早期着手ができるように、ぜひお願いしたい。
- ・大橋川改修について、我々も頑張るが、ぜひ国においては、予算の確保をよろしくお願いしたい。

■米子市長

- ・短期、短中期を計画どおり進めていただきたいと思っているので、よろしくお願ひしたい。
- ・旗ヶ崎について、今年度には完成予定ということだが、樋門の操作、内水対策があるので、樋門の操作の研修、ポンプ車の派遣等をよろしくお願ひしたい。

■安来市副市長

- ・短中期で計画されている安来港の整備に着手していただいた。この進捗について、よろしくお願ひしたい。
- ・安来港に合流する市の河川の内水対策について、交付金事業を導入し、排水ポンプの設置を現在進めているところである。29年度の秋には完成する予定であるので、今後ともよろしくお願ひしたい。

■境港市副市長

- ・境水道の護岸整備について、河川整備計画において、各自治体で実施が検討されている内水対策、これが明らかになった時点で調整を図り、必要な堤防等の整備を行うと記載されている。境港市としては、内水排除ポンプ施設の設置等の対策を行ったところである。今後、県、市との調整を国にお願ひしたい。

○中国地方整備局長

- ・湖岸堤の整備について、本事業の調整過程から短期整備、短中期、中期について、できるだけ前倒しをしてやっていくようにという御意見をずっといただいていたと認識している。現在、前倒しの整備をし、次に移っていくということが比較的順調にできているが、まだ予断を許すところではないので、引き続き御協力をいただきながら進めてまいりたい。そのためには、情報共有していくというのは当然のことであるので、引き続きよろしくお願ひしたい。
- ・樋門の操作について、確かに技術的なことであるので、様々な形で協力させていただ

きたい。

- ・ポンプ車の配置について、ポンプ車はかなり優先的に被害が起きているところに出動している。例えば、先日の広島県福山市で内水による被害が起きた際、すぐに駆けつけて、半日ぐらいで収れんさせたということがある。私どもの使命として、そういうものに対して協力していくことは当然のことなので、ぜひ、いろいろ情報の共有をさせていただきながら、リエゾンの派遣も含めて、緊急に対応していきたい。
- ・内水対策について、内水の問題が非常に大きな問題であるということは重々承知しているが、今までの事業のスキームとして、基本的には自治体のほうの事業でやっていたというのが基本原則になっている。しかし、流域全体でのいろいろな問題の中での話だと理解するので、ぜひ個々具体の話について、この協議会の場でしっかりと議論をしていただいた上で、やれるものについてきちんとやっていくという形だと思っている。
- ・大橋川改修について、我々としても予算の確保が非常に重要であると思っているので、松江市長をはじめとして、しっかりと応援をいただきながら、予算を確保していきたい。

■出雲河川事務所長

- ・中海湖岸堤の整備については、関係の皆様と連携してしっかり進めていきたい。
- ・境水道の護岸整備についても、各自治体からの内水対策の状況を聞きながら、各自治体の要請を踏まえて協議に応じてまいりたい。
- ・宍道湖の湖岸堤の整備については、優先順位等を検討して関係の皆様と調整しながら、既に現地測量、予備設計等、進められる箇所から準備を始めており、着手に向けて準備を進めたい。

(2) 中海の水質及び流動会議（説明者：鳥取県生活環境部）

【意見等】

■米子市長

- ・人為的地形改変に伴う水質の経年変化の分析について、森山堤の開削を含めた地形改変の分析及び評価は、現時点では結論づけは困難であるという回答だったと思うが、引き続きモニタリングを行って、評価・検証に努めていただくようお願いしたい。
- ・覆砂について、米子湾においては、近年、透明度などの改善傾向が見られるということだが、まだまだ中海の他の箇所と比べるとよい状況にはない。6月にはオープンウ

オータースイム、7月には市民レガッタといった水辺のイベントもいろいろ行っているので、今まで錦海町沖で実施している覆砂事業については、引き続き推進していただき、米子湾における一層の自然浄化機能の回復が図られるようお願いしたい。

■松江市長

- ・水質の話はずっと聞いており、結局今のアプローチの仕方としてはモニタリングをやり、それを原因分析し、対策に結びつけていこうと、そういうアプローチの仕方だと思うが、結論にもあったように、何が一番有効なのかということについて、なかなか時間をかけても出てこないというのが今までの経験である。
- ・もう一つのアプローチの仕方としては、例えば浅場造成、覆砂を試験的にやり、それによって、何か大きな効果が出てくるということであれば、もっと積極的に推し進めていく必要があるのではないか。予算との関係もあると思うが、両方からのアプローチというのはぜひやって、この間を縮めていくやり方をぜひお願いしたい。

■鳥取県生活環境部長

- ・米子市の野坂市長からの土地改変については、水質変動との関係性を明らかにするのはなかなか困難ではあるが、引き続きデータをとりながら、原因の分析に引き続き取り組んでまいりたいので、米子市の協力もよろしくお願いしたい。
- ・覆砂等については、浅場造成では貝の生育とか、効果検証もやっているところなので、よい結果が出るものについてはそれを伸ばしていき、より効果的な方策については情報収集を図りながら、両県、国交省と協力しながら、引き続き取り組んでまいりたい。

■鳥取県知事

- ・皆様のほうから御意見がいくつか出て、森山堤の開削等、あるいは西部承水路の撤去のモニタリングをして必要な対策につなげていくということなので、引き続き、設置されている中海の水質及び流動会議のほうで調査を継続していただく必要があると思う。
- ・中海の一部深くなっているくぼ地についても、何らかの方法が考えられないか。

■中国地方整備局長

- ・中海の水質改善については、効果があるものを効果のあるところできちんとやっていくということが重要だと考えている。くぼ地については、どういうやり方をしていくのかということについては、皆で相談しながら進めていければよい。

■松江市長

- ・結局、何でなかなかできないかということになると、評論家的になっているところがあると思う。宍道湖も縦割りみたいな話が大きな壁になっているような気がする。それはおまえがやる仕事ではないかとか、そういう話になってしまうと、なかなか物事が進まないの、例えば地方整備局で音頭をとってもらい、そこへ関係者がそれに対して予算的な措置をして一緒にやっていくとか、そういうことができないか。
- ・そういうことによって今ある中海を、次の代にいいものを残していくというのは、地方整備局だけの責任ではないと思うので、そういう思いに立って関係者がいろいろ知恵を絞れば一緒に何かすることができるのではないかと思うので、ぜひそういう議論をお願いしたい。

■鳥取県知事

- ・松浦市長から重ねて、推進について話があった。中海会議自体がそういう縦割りを排して関係省庁、そして各市町村や県が入りまして協議できる、唯一の場だろうと思う。
- ・松浦市長の提案に対し、現在、ワーキングがそれぞれ分かれているが、覆砂の有効性の検証、方策の可能性について、ワーキングのような形で、今日こういう御意見の提起があったということをご共有させていただき、具体的な方策について事務ベースで、部会の垣根を越えて検討させていただき、来年の会議の場で報告させていただくとしてはどうか。では、異議がないものと認め、国交省にもよく協議をさせていただきながら、引き続き方策として考えられる方向性をまとめてまいりたい。

(3) 中海沿岸農地排水不良ワーキンググループ (説明者：米子市経済部農林課)

【意見等】

■米子市長

- ・残土を客土として活用することは大変重要だと思っているが、なかなか残土が発生したという情報が入ってこないの、この中海会議の構成員の方々にも、残土の情報などがあつたら、ぜひとも御協力いただきたい。

(4) 中海の利活用に関するワーキンググループ (説明者：島根県政策企画局)

【意見等】

■中国地方整備局長

- ・国土交通省では、水辺からはじまる生態系ネットワーク全国会議という、首長にもお集まりいただいて、生態系ネットワークの形成と地域社会との関わりをテーマとして意見交換する場を持っている。

- ・今年6月にその会議があり、その中でも中海を含めた斐伊川流域での取り組みが紹介されており、非常に高い評価をいただいたと聞いている。
- ・来年も会議があると思うので、ぜひ今日お集まりの市長さんには、御出席を賜れればと思っているので、よろしく願いしたい。

議事3 その他（「水防災意識社会再構築ビジョン」に基づく取組）

（説明者：国土交通省出雲河川事務所）

【意見等】

特になし